

## 「総合戦略に対する提言書」をベースに 館林市の未来像について

櫻井 正廣 議員

**質問** 短期的に滞在してお金を落としてくれる外国人を含めた観光客を招くことで、交流人口を増やし、人口減少化によるその増加分の経済効果を生み出させる方策について伺います。

観光資源を紹介することで、新たな観光客の創出や滞留時間を延ばし、地域産業の活性化が図れるよう、交流人口のさらなる拡大を図りたいと考えております。

**答** 本市の強みである首都圏から近距離といった利便性を生かし、さまざまな

**質問** 健康寿命を延ばすための施策として、全市的にラジオ体操を導入していく考えについて伺います。

**答** ラジオ体操は、負荷も少なく気軽にできる体操であり、館林ラジオ体操連盟には1級指導員が3名、2級指導員が5名所属しておりますので、連盟のお力を借りながら、地域や企業等での取り組みを推進してまいりたいと考えております。

**質問** 年間を通して集える公園整備について、市民から強い要望のあるバーベキューエリアをつくるには、どのようなハードルがあるのか、伺います。

**答** 現有公園内に設置するには、火の管理や近くに水道施設があること、ごみ処理の問題、近隣住宅に煙や音、臭気等の迷惑がかからず、駐車スペースが確保できるなどの課題を整理し、区域を指定することが必要であると考えております。

**要望** 食材等の提供やごみの片付けなども民間に任せ、行政と民間とで行う共創社会の実現を望みます。

**質問** 定住人口を増加させる方策について伺います。

**答** 人口に関する分析を行い、館林版人口ビジョンを定め、その実現に向けた具体的な施策を盛り込んだ総合戦略の策定に取り組んでいるところでございます。

**要望** すばらしいビジョンが完成したということで計画責任を果たして終わるのではなく、市民と協働し、毎年ごとに結果責任を明確にすることで館林市のすばらしい未来像を完成させていただくことを要望します。

## 地方創生ふるさと納税と ゆう活について

青木 一夫 議員

ふるさと納税について

**質問** 本年4月より、住民税の控除額が2倍になり、確定申告も不要になるなど、ふるさと納税制度が大きく変更されたが、本市の進捗状況について伺います。

外を問わず、1万円以上の寄附に対して概ね半額程度の返礼品を選択できるよう、仕組みを刷新し再スタートする予定で進めております。

**質問** 多くの自治体では、返礼品により地場産業や地元経済の活性化が図られ、また、寄附金により子育て支援や医療・介護の充実が

**答** これまで、ふるさと納税の本来の趣旨であります本市を純粋に応援してくる方などに本市の風景を掲載したカレンダーを贈り、ふるさとを感じていただければと取り組んでおりました。今回の税制改正により、

**質問** 政府は、夏の時期に、朝型勤務を国民運動として経済団体などに要請し、本市でも7月と8月に試験的

**質問** 政府は、夏の時期に、朝型勤務を国民運動として経済団体などに要請し、本市でも7月と8月に試験的

**答** 導入しましたが、その成果と課題、そして今後も継続するのか、伺います。

**答** 来客や電話もなく仕事に集中でき、効率的に業務ができた。家族との時間が持てて喜ばれたとの成果があった一方で、課題として、夜型から朝型への生活リズムにおける体調管理や職員の意識改革などがあります。今後も勤務時間について柔軟に対応し、より良い勤務環境の整備に一つ一つ取り組んでまいります。